

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2019年 3月 4日 No. 306

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

冬の晴れ間の中・・・

# 第6回 青柳事故研修開催



2月9日、気温が-4℃と平年より温かく積雪が無いなか、中央東線青柳駅において長野地本主催「第6回青柳事故研修」が開催されました。当日は11名の仲間が参加し、安全の碑があった場所での研修と、事故発生時刻の9:26に参加者全員で黙祷を捧げました。その後、参加者は駅近くの「金沢コミュニティセンター」に移動し、研修スタッフの仲間から事故の概況説明、参加者全員での意見交換会を行いました。



意見交換会では当時の状況や大雪時の会社の対応、会社の研修で感じたことや事故を知らない社員が増えてきた危機感など、参加者から様々な意見をいただきました。地本からはまとめて青柳事故研修開催の意義や必要性、組合員に限らず全社員に事故を伝えていくこと、危険な作業への職場での検証のお願いなどが話されました。一人ひとりが安全への想いをあらためて強く胸に刻み込みました。

昨年羽越本線、羽後本荘駅で組合員の死亡事故が発生しました。労働組合として仲間の命と安全を守ると同時に、ご利用いただいているお客さまの命と安全を守ることも私たちに課せられた重要な課題です。労働組合としての「究極の安全」を目指してこれからも運動を推し進めていきましょう。



## 青柳事故をから21年、事故を風化させず「安全」をつくり出そう!